

各アクションプランの事業評価

- a：特に成果が高い。
 b：計画どおりの達成がなされている。
 c：目標を下回った。未着手であった。

No.	アクションプラン	22年度 事業評価	23年度 事業評価	・23年度の【a評価】または【c評価】の理由 ・22年度【c評価】が23年度に【b評価】と なった理由 ・これまでに統合、廃止した事業の理由
(1)	千葉県版年間指導計画の作成	b	b	
(2)	教育課程研究協議会等の実施	a	b	
(3)	学力状況調査の実施と活用	b	b	
(4)	指導指針21世紀を拓くの作成と活用	b	b	
(5)	少人数学習指導員の配置	b	b	
(6)	学習支援員(フレンドリーチューター)の配置	-	-	(142)『NPO「ちば教育夢工房」による支援の推進』と統合のため削除 ※(87)「楽しい教室づくりの推進」も同様
(7)	学校訪問指導の実施	b	b	
(12)	理科支援員等の配置	b	b	
(13)	小中学校理科センターによる理科教育の振興	b	b	
(16)	児童生徒の成果発表	a	b	
(17)	情報教育支援員の配置	b	b	
(18)	学校CIOの育成 ※学校CIO…教育の情報化を進めるための総括責任者	a	a	学校CIOの育成率が17%から25%まで増加できたことにより、各校における情報教育の充実が図ることができた。
(19)	学習コンテンツの開発と活用	a	b	
(20)	情報モラル教育の推進	b	b	
(21)	科学館を活用した授業の展開	b	b	
(22)	図書館の活用推進	b	b	
(23)	博物館等との連携	b	b	
(24)	学校図書館情報ネットワークシステムの整備推進	b	b	
(26)	農山村留学の実施	a	b	

No.	アクションプラン	22年度 事業評価	23年度 事業評価	・23年度の【a評価】または【c評価】の理由 ・22年度【c評価】が23年度に【b評価】と なった理由 ・これまでに統合、廃止した事業の理由
(27)	移動教室の実施	a	b	
(28)	少年自然の家の運営	b	b	
(29)	自然教室の実施	b	b	
(31)	ボランティア教育の推進	b	b	
(31-2)	子ども議会	b	b	
(32)	人権教育の推進	b	b	
(34)	道徳教育用教材の作成	b	b	
(35)	環境教育教材の作成	b	b	
(36)	環境学習モデル校の指定	b	b	
(37)	ごみ分別スクールの推進	b	b	
(38)	不登校やいじめに関する教育相談の実施	b	b	
(39)	スクールカウンセラーの配置	b	b	
(40)	スクールソーシャルワーカーの活用調査事業	c	c	他政令市の状況調査に止まり、未実施となった。
(41)	ネット上のいじめへの対応	b	b	
(42)	小中学校におけるキャリア教育の推進	b	b	
(43)	高等学校におけるキャリア教育の推進	b	b	
(44)	地域教材の作成と活用	b	b	
(45)	埋蔵文化財を活用した出前授業	b	b	
(47)	千葉市の農業の配布と活用	b	b	
(48)	ふれあいパスポートの発行配布	b	b	
(49)	小学校英語活動の推進	b	a	体験的な外国語活動を実施することにより、「英語活動が楽しい」と回答する児童が27年度目標値である95%を超え96%まで増えた。
(50)	外国語指導助手等の配置	b	b	
(51)	中高一貫教育校における英語教育の展開	b	b	

No.	アクションプラン	22年度 事業評価	23年度 事業評価	・23年度の【a評価】または【c評価】の理由 ・22年度【c評価】が23年度に【b評価】と なった理由 ・これまでに統合、廃止した事業の理由
(169)	姉妹友好都市との交流	b	a	ヒューストンの小学生による「震災お見舞いカード」や中国の小中学生による修学旅行での訪問により、異文化理解を深めることができた。
(170)	インターナショナルスクールとの連携	b	b	
(52)	学校図書館指導員による読書活動の充実推進	a	b	
(53)	学校図書館図書 of 充実	a	b	
(54)	朝読書の推進	b	b	
(55)	図書館図書の団体貸出しの推進	b	b	
(56)	図書館見学・職場体験やお話し会の実施	b	b	
(57)	子ども読書まつりの実施	a	b	
(58)	小・中学校音楽鑑賞教室等の開催	b	b	
(59)	本物の舞台芸術の体験	b	b	
(60)	文化芸術に親しむ場の提供	-	-	
((60))	伝統文化を学び、伝統文化に触れる機会の充実	b	-	市が事業を実施するのではなく、これらの事業を実施する文化団体を支援し、より幅広い文化芸術について振興を図るため、(60)～(62)の事業をまとめて「文化芸術に親しむ場の提供」に統合
((61))	青少年ミュージカルの実施	-	-	
((62))	ふれあい音楽クリニックコンサートの実施	b	-	
(63)	美術館での鑑賞教育の推進	b	b	
(64)	新体力テスト、県運動能力証、生涯学習運動能力検定の実施	b	b	
(65)	地域連携の強化による子どもの体力向上	-	-	市単独事業としての実施を見送り、「地域スポーツ化人材の活用実践への支援」に統合
(66)	小学校各種体育大会の開催	b	b	
(67)	中学校体育大会の開催	b	b	
(68)	中学校運動部活動指導者の派遣	b	b	
(69)	地域スポーツ化人材の活用実践への支援	b	b	
(70)	子どもたちの運動や遊びの場の確保	b	b	
(71)	総合型地域スポーツクラブの設立支援	a	-	事業完了のため削除

No.	アクションプラン	22年度 事業評価	23年度 事業評価	・23年度の【a評価】または【c評価】の理由 ・22年度【c評価】が23年度に【b評価】と なった理由 ・これまでに統合、廃止した事業の理由
(72)	地域の専門医との連携による子どもの健康づくり	b	b	
(73)	歯と口の健康づくりの推進	a	b	
(74)	学校給食の充実	b	b	
(75)	子どもの健康を育む総合食育の推進	b	b	
(76)	家庭教育資料の配布	b	b	
(77)	子育てハンドブックの配布	b	b	
(78)	子育て支援情報誌「いきいき子育て」の配布	c	b	22年度には年2回の発行予定が内容見直し期間として、1回分の発行を見合わせたため、3月の発行のみとなったが、23年度は計画どおりの年2回の発行に戻すことができました。
(79)	地域における家庭教育支援の基盤形成	b	b	
(80)	保育所・幼稚園等による子育て支援の推進	b	b	
(80-2)	幼稚園を活用した子育てのための職員配置	b	b	
(81)	公民館における子育て支援の推進	b	b	
(82)	放課後子ども教室の推進	b	b	
(83)	子どもルームの整備・運営	b	b	
(84)	公民館での子どもたちの学習や活動の場の確保	b	b	
(87)	「楽しい教室づくり」の推進	-	-	(142)『NPO「ちば教育夢工房」による支援の推進』と統合のため削除 ※(6)「学習支援員(フレンドリーチューター)の配置」も同様
(88)	特別非常勤講師の配置	b	a	地域人材を多く派遣することができ、児童生徒に優れた知識と技術を与えることができた。
(91)	学校・家庭・地域連携によるまちづくりの推進	b	b	
(92)	学校セーフティウォッチの推進	b	a	見守り活動登録者数が22年度から2500人増となり、より多くの目で子どもたちの安全を確保できるようになった。
(93)	こども110番のいえ設置の推進	b	b	
(94)	青少年育成活動の推進	b	b	
(94-2)	子どもに信頼される大人に関する調査研究	b	b	

No.	アクションプラン	22年度 事業評価	23年度 事業評価	・23年度の【a評価】または【c評価】の理由 ・22年度【c評価】が23年度に【b評価】と なった理由 ・これまでに統合、廃止した事業の理由
(95)	悩みや不安を抱えた青少年への支援	a	b	
(96)	補導活動の実施	b	b	
(97)	青少年の日、家庭・地域の日の活動の推進	b	b	
(98)	校舎・屋内運動場等の耐震補強	b	b	
(99)	校舎の改築	b	b	
(100)	校舎の改修整備	b	b	
(100-2)	川戸中学校武道場建設	b	b	
(101)	特別支援学級等の教室改修及び備品整備	b	b	
(102)	学校給食センターの整備	b	b	
(103)	校内LANの整備	a	b	
(104)	学習情報センターの整備・充実	b	-	学習情報センターとして想定していた学校図書館へのパソコン設置に係る事業は、IT機器の進化により、施策の趣旨を実現するような別のアクションプランを検討する必要が生じたため、アクションプランから削除
(105)	情報教育センターの整備	c	-	Cabinet統合システムが導入され、学習用及び校務用システムが稼働し始めたことから、教育センター情報教育部門の事業内容を見直し、新たな視点での視点での施策を展開する必要が生じたため、アクションプランから削除
(106)	防犯設備の整備	b	b	
(107)	防犯等安全対策の推進	b	a	「学校総合防災マニュアル」を作成することができた。
(108)	新学習指導要領に対応した教材教具の充実	b	b	
(109)	地上デジタル放送への対応	b	-	地上デジタル放送への完全移行を22年度までに完了したため、アクションプランから削除
(109-2)	電子黒板の活用	b	b	
(110)	小規模校への対応	a	b	
(111)	大規模校化への対応	b	b	
(112)	特色ある教育活動の展開	b	b	

No.	アクションプラン	22年度 事業評価	23年度 事業評価	・23年度の【a評価】または【c評価】の理由 ・22年度【c評価】が23年度に【b評価】と なった理由 ・これまでに統合、廃止した事業の理由
(114)	特色ある学校づくり予算の充実	b	b	
(115)	幼保小連携教育の推進	b	b	
(116)	小中連携・一貫教育の推進	b	b	
(117)	中高一貫教育の推進	b	b	
(118)	高等学校と大学連携教育の実施	b	a	「ナノテクノロジー講座」「物質工学講座」など23年度に新たに講座を開設し、生徒の科学に関するニーズに応えた。
(119)	単位制の実施	b	b	
(120)	理数教育の充実	b	b	
(121)	国際理解教育の充実	b	b	
(122)	市立高等学校改革の評価・検証	a	b	
(124)	幼児教育支援体制の整備	a	b	
(125)	幼児教育支援センターの運営	a	b	
(126)	幼児教育を受ける機会の充実	b	b	
(127)	私立幼稚園教材費の助成	b	b	
(128)	私立幼稚園就園奨励費の補助	b	a	市民税所得割課税額183千円超を除く補助区分において、3000円～4200円の補助単価の増額をし、より経済的負担軽減を図ることができた。
(129)	教職インターンシップの推進	b	b	
(130)	中学校教科担任の確保	b	b	
(131)	教員採用方法の工夫改善	b	a	新たな選考方法として「他県教職特例」や「障害者特別選考の受験年齢資格を60歳未満とする」などを取り入れ、優れた人材の確保ができた。
(132)	ライフステージに応じた研修の実施	b	b	
(133)	教職員のニーズに応じた研修の実施	b	b	
(134)	千葉県教育の中核を担う教職員の育成	b	b	
(135)	特別支援教育研修の実施	b	b	

No.	アクションプラン	22年度 事業評価	23年度 事業評価	・23年度の【a評価】または【c評価】の理由 ・22年度【c評価】が23年度に【b評価】と なった理由 ・これまでに統合、廃止した事業の理由
(136)	小中学校研究学校の指定	b	b	
(137)	教育研究奨励賞による顕彰	b	b	
(138)	教職員教育研究発表会の実施	b	b	
(139)	教育研究の推進と活用	a	b	
(140)	千葉市教育研究会との連携	b	b	
(141)	教職員服務規律の確保	b	b	
(142)	NPOちば教育夢工房による支援の推進	a	b	(6)「学習支援員(フレンドリーチューター)の配置」及び(87)「楽しい教室づくりの推進」を統合した。
(143)	校務のIT化の推進	b	b	
(144)	教職員の勤務負担軽減	b	a	学校管理訪問時の指導案作成廃止、教職員経験者研修の回数減など、教職員の勤務負担軽減の取り組み内容を整理できた。
(145)	教職員ヘルシーシステムの整備	b	b	
(146)	千葉スクールレスキュー制度の実施	b	b	
(147)	学校問題解決支援体制の整備	b	b	
(148)	目標申告制度の充実と業績評価の検討及び試行	b	b	
(150)	特別支援教育指導員の配置	b	a	特別支援教育指導員を5人増員することができ、より支援の充実が図れた。
(151)	学校訪問相談員の派遣	b	b	
(152)	障害のある子の学校生活のサポート	b	b	
(154)	特別支援学校と小中学校との連携教育の推進	b	b	
(155)	障害のある幼児・児童生徒の就学支援	b	b	
(156)	特別支援に関する教育相談	b	a	前年比44件増の相談に対応しながらも、相談を受けるまでの時間を短縮することができた。
(158)	特別支援連携協議会の設置	b	b	
(159)	就労体験の支援	b	b	

No.	アクションプラン	22年度 事業評価	23年度 事業評価	・23年度の【a評価】または【c評価】の理由 ・22年度【c評価】が23年度に【b評価】と なった理由 ・これまでに統合、廃止した事業の理由
(160)	長柄げんきキャンプの実施	b	b	
(161)	長柄ハッピーキャンプの実施	b	b	
(162)	高等特別支援学校の設置	b	a	23年度検討が進み、25年4月に千葉市立高等特別支援学校を設置することとなった。
(163)	特別支援学校の再編検討	b	a	23年度検討が進み、25年4月に千葉市立養護学校真砂分校を設置することとなった。
(164)	適応指導教室の設置及び運営・管理	a	a	ライトポート緑を開設できた。
(166)	教育相談指導教室の運営	b	b	
(167)	外国人児童指導教室の設置	b	b	
(168)	外国人児童生徒指導協力員の派遣	b	b	
(173)	私立高等学校等への助成	b	b	
(174)	就学援助	b	b	
(175)	育成資金の支給	b	b	
(176)	「IT等を活用した学習」の実施	a	b	23年度までアクションプラン名「eラーニングの実施」であったが、学習ソフト変更のため『「IT等を活用した学習」の実施』とした。
(177)	中学校夜間学級の実施	c	-	22年度に設置に関する検討により、設置見送りとなったためアクションプランから削除
(178)	学校評議員制度の充実	b	b	
(179)	学校評価システムの実践研究	b	b	
(180)	教育広報紙等による教育情報の発信	b	b	
(181)	学校情報の発信	b	b	
(182)	学校支援システムの整備	c	c	現行施策の強化や制度の充実により、学校を支援する施策の研究段階に止まったため。
(183)	地域ぐるみの学校安全体制の整備	b	b	
(185)	夢思いやりチャレンジ基金の整備	c	c	25年4月基金創設に向けた検討準備に向けた検討段階に止まったため。